

鹿児島県感染症情報

2022年 第45週報 (11月7日~11月13日)

発行：鹿児島県環境保健センター（内容に関するお問い合わせ：健康増進課感染症保健係）

※ 感染症のホームページアドレス <http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/kenko-iryu/kansen/index.html>

県内の新型コロナウイルス感染症は、11月13日時点の届出総数が312745例となりました。国は第7波と同様のスピードで感染拡大した場合、2週間後には第7波のピークを超える可能性があるとしています（県のこれまでの動向は、本紙2頁下段を参照）。

第8波に備え、2022年夏の「第7波」と同じ程度か、それを上回る感染状況になった場合には、都道府県が「対策強化宣言」を出し、住民に外出自粛などを要請できるように方針を決めました。また、現在5段階にわかれている感染状況のレベルのうち、感染者がいない「レベル0」をなくし、4段階に見直すことも決定しました。

本県では、1997年から世界エイズデーを中心とする1か月間を「鹿児島レッドリボン月間」と定め、エイズに関する正しい知識の普及啓発を実施することにより、エイズの予防及び感染者・患者等が尊厳をもって暮らせる社会づくりを推進しています。この期間に合わせて催しが開催されます。詳しくはQRコードでご確認を！



このまちで暮らしている。
私もあなたも。



12月1日は世界エイズデー

鹿児島レッドリボン月間

11月16日~12月15日



鹿児島 レッドリボン



レッドリボンはUNAIDS（ユエヌエイズ：国連合同エイズ計画）のシンボルマークとしても採用されています。また、12月1日の「世界エイズデー」は、WHO（世界保健機関）が1988年に「エイズのまん延防止及び感染者・患者に対する差別・偏見の解消を図る」ことを目的として決めました。現在、HIV陽性者の治療法は大きく進歩しました。感染の早期把握や治療の早期開始・継続で発症を防止し、感染していない人と同等の生活が期待できるようになりました。

2021年、世界中で約3,840万人のHIV感染者/AIDS患者がおり、年間約150万人の新規感染者、約65万人の死亡者が出ていると推定されています。日本における2021年の後天性免疫不全症候群の届出数は1053例（男性1008例、女性45例）となっています。本県においては2019年（13例）、2020年（12例）、2021年（6例）と推移し、2022年は第45週時点で11例の届出となっています。その内訳をみると、病型別では患者6例、無症状病原体保有者5例で、年齢別では30歳代（7例）、40歳代（2例）、20歳代、60歳代（それぞれ1例）の順となっています。

第45週の定点報告疾患の報告状況を見ると、県内には4週連続で流行発生警報域及び注意報域の疾患はありません。また、全数報告疾患の届出状況を見ると、県内の梅毒は第45週時点で126例となりました（速報値のため数値が変更する場合あり）。年齢別では20歳代（41例）、30歳代（27例）、40歳代（25例）の順となっています。

☆一～五類感染症(全数報告疾患)の発生状況

一類感染症	発生報告なし
二類感染症	結核2例（肺結核2例） 追加結核1例（第41週）
三類感染症	発生報告なし
四類感染症	日本紅斑熱1例、つつが虫病1例
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1例、急性脳炎2例、水痘（入院例）1例、後天性免疫不全症候群1例、梅毒5例 追加後天性免疫不全症候群1例（第41週）
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症2528例 （うち、みなし陽性者0例及びコロナ・フォローアップセンターでの確定者82例を含む）
獣医師が届出を行う感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）の鳥類

☆定点報告疾患の発生状況

- ・今週の定点医療機関は、インフルエンザ定点89、小児科定点53です。（インフルエンザ定点3減、小児科定点1減）
- ・第45週の定点把握対象疾患の総報告数は294人で、前週より42人多い報告数でした（4頁参照）。
- ・流行発生警報の基準値（開始基準値及び終息基準値）以上の保健所 該当なし
- ・流行発生注意報の基準値以上の保健所 該当なし

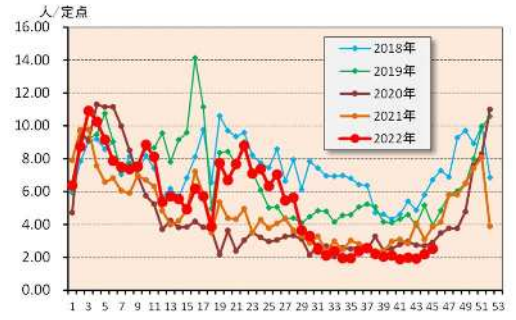
☆定点報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患の発生状況）

(1) 感染性胃腸炎

第45週の感染性胃腸炎の報告数は136人で、前週より20人多く、定点当たりの報告数は2.57であった。

年齢別では、10～14歳（32人）、1歳（18人）、3歳（12人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿児島市保健所（6.00）、指宿保健所（5.50）、鹿屋保健所（3.20）の順に多い。

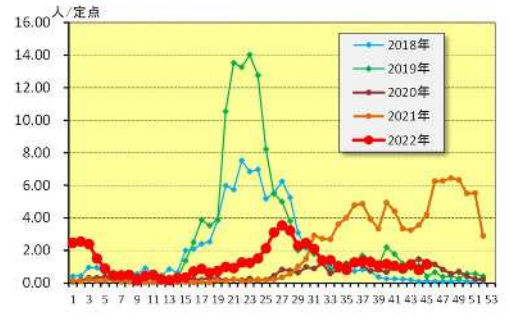


(2) 手足口病

第45週の手足口病の報告数は62人で、前週より20人多く、定点当たりの報告数は1.17であった。

年齢別では、1歳（26人）、2歳（13人）、6～11ヶ月（9人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、屋久島保健所（3.50）、始良保健所（2.86）、鹿児島市保健所（2.15）の順に多い。

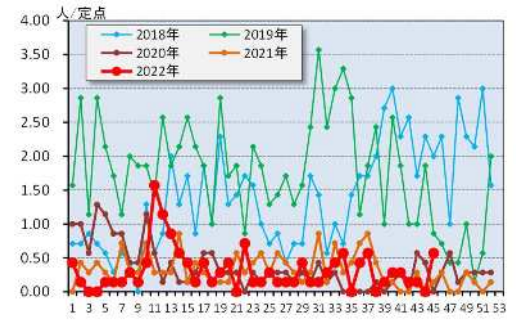


(3) 流行性角結膜炎

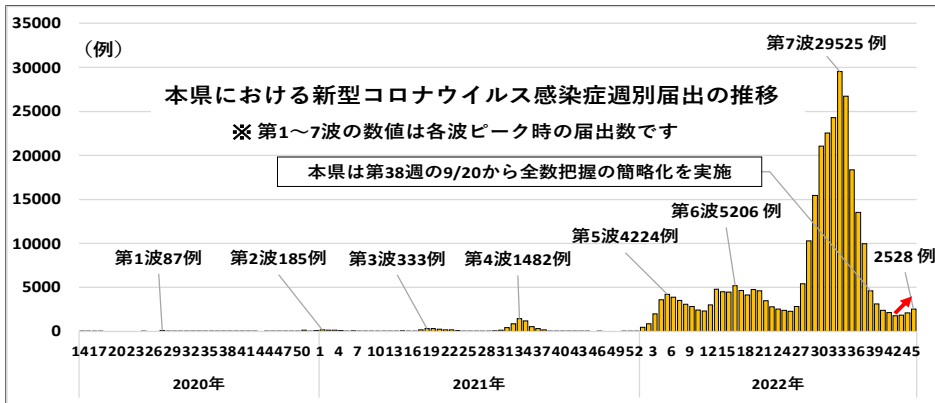
第45週の流行性角結膜炎の報告数は4人で、前週より4人多く、定点当たりの報告数は0.57であった。

年齢別では、50～59歳（2人）、15～19歳、30～39歳（それぞれ1人）の順に多かった。

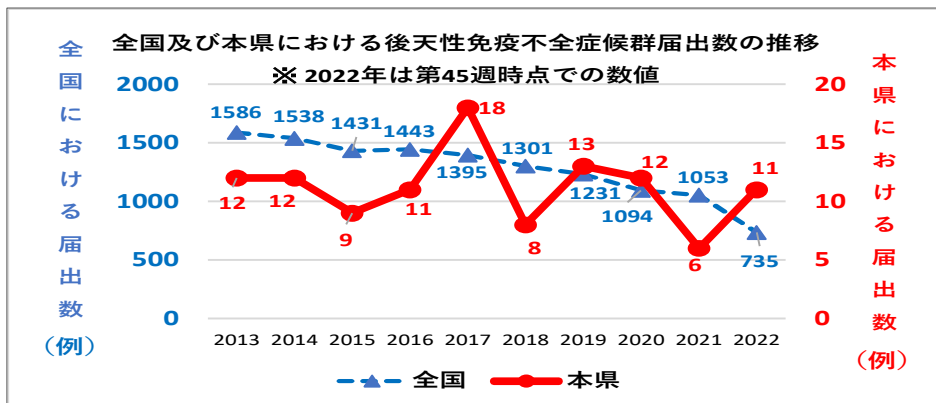
保健所別の定点当たり報告数は、始良保健所（3.00）、川薩保健所（1.00）の順に多い。



【新型コロナウイルス感染症関連情報】

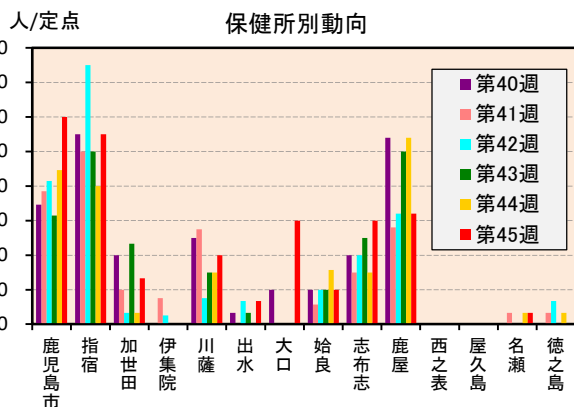
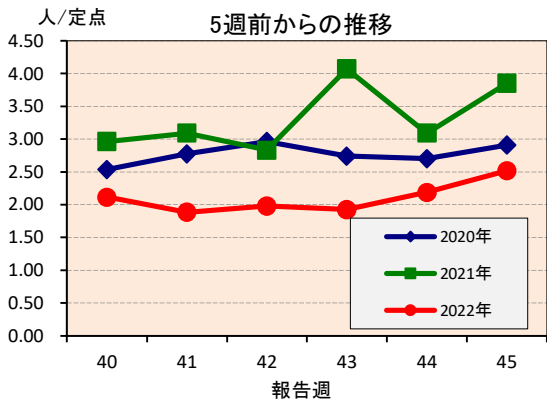


【HIV/エイズ関連情報】

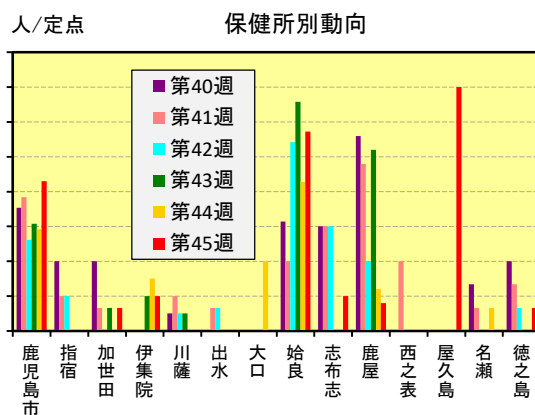
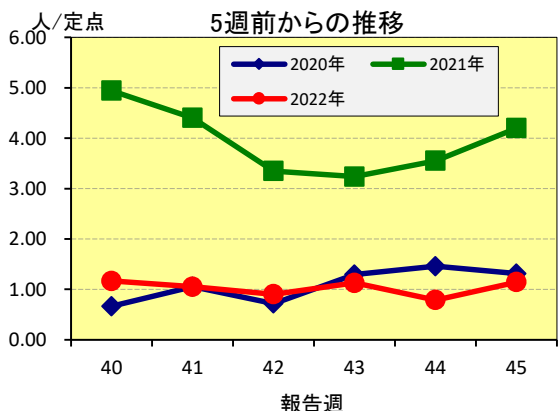


☆上位3疾患の5週間前からの定点あたり報告数及び保健所別動向

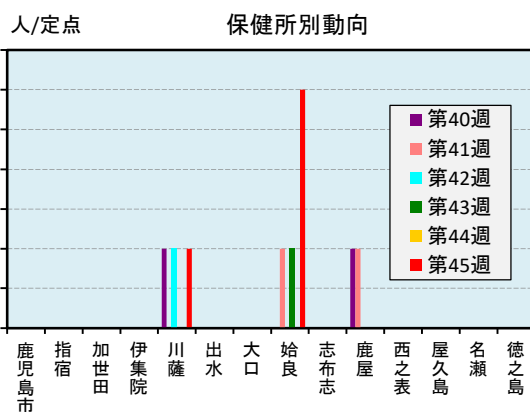
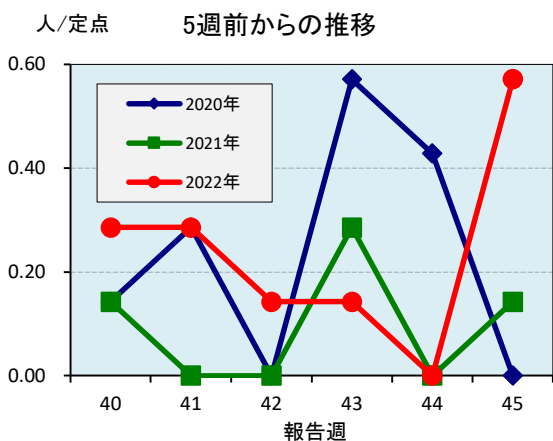
(1) 感染性胃腸炎



(2) 手足口病

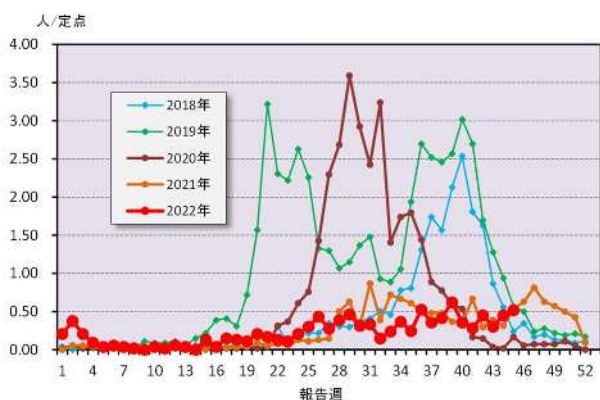


(3) 流行性角結膜炎

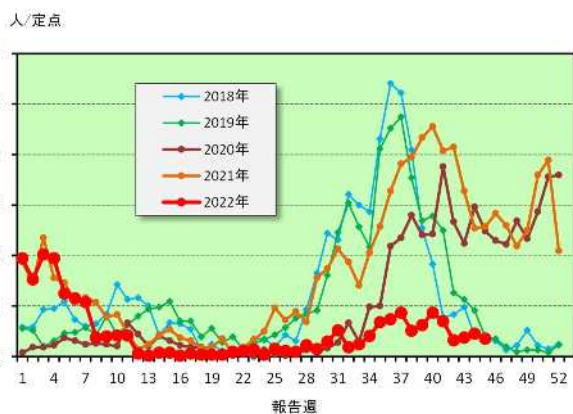


☆注目される感染症の発生状況

★ ヘルパンギーナ (鹿児島県)



★ RSウイルス感染症 (鹿児島県)



☆定点報告疾患の発生状況

2022年	(報告週)	第45週		
定点種別	定点報告疾患	報告数	定点当り	累積報告数 (2022年)
インフルエンザ定点 (内科・小児科定点)	インフルエンザ	-	-	31
小児科定点	○ 咽頭結膜熱	8	0.15	1,038
	○ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	0.19	676
	○ 感染性胃腸炎	136	2.57	12,701
	水痘	8	0.15	183
	○ 手足口病	62	1.17	3,038
	伝染性紅斑	-	-	35
	○ 突発性発しん	14	0.26	906
	○ ヘルパンギーナ	28	0.53	554
	○ 流行性耳下腺炎	5	0.09	97
	RSウイルス感染症	19	0.36	1,177
眼科定点	急性出血性結膜炎	-	-	-
	○ 流行性角結膜炎	4	0.57	99
基幹定点	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	-	-	3
	無菌性髄膜炎	-	-	9
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	0.00	4
報告数合計		294	0	20,551

○印は前週比増

☆5週間前からの疾患別報告数・定点当たり報告数

		5週前 (2022年40週)	4週前 (2022年41週)	3週前 (2022年42週)	2週前 (2022年43週)	1週前 (2022年44週)	今週 (2022年45週)
インフルエンザ	報告数	2	2	1	-	-	-
	定点当り	0.02	0.02	0.01	-	-	-
RSウイルス感染症	報告数	46	37	17	20	24	19
	定点当り	0.87	0.70	0.32	0.38	0.45	0.36
咽頭結膜熱	報告数	8	5	8	4	7	8
	定点当り	0.15	0.09	0.15	0.08	0.13	0.15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	9	6	14	11	5	10
	定点当り	0.17	0.11	0.26	0.21	0.09	0.19
感染性胃腸炎	報告数	112	100	105	109	116	136
	定点当り	2.11	1.89	1.98	2.06	2.19	2.57
水痘	報告数	2	4	5	7	9	8
	定点当り	0.04	0.08	0.09	0.13	0.17	0.15
手足口病	報告数	62	56	48	60	42	62
	定点当り	1.17	1.06	0.91	1.13	0.79	1.17
伝染性紅斑	報告数	-	-	1	1	9	-
	定点当り	-	-	0.02	0.02	0.17	-
突発性発しん	報告数	18	17	16	22	13	14
	定点当り	0.34	0.32	0.30	0.42	0.25	0.26
ヘルパンギーナ	報告数	19	15	24	16	24	28
	定点当り	0.36	0.28	0.45	0.30	0.45	0.53
流行性耳下腺炎	報告数	-	2	1	-	3	5
	定点当り	-	0.04	0.02	-	0.06	0.09
急性出血性結膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	2	2	1	1	-	4
	定点当り	0.29	0.29	0.14	0.14	-	0.57
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数	-	-	-	1	-	-
	定点当り	-	-	-	0.08	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	-	-	1	-	-	-
	定点当り	-	-	0.08	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-

疾病別保健所別患者報告数及び定点当たり報告数(男女合計)

2022年45週(11月07日～11月13日)

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	0	0.00	19	0.36	8	0.15	10	0.19	136	2.57	8	0.15	62	1.17	0	0.00	14	0.26
鹿児島市	-	-	17	1.31	1	0.08	6	0.46	78	6.00	6	0.46	28	2.15	-	-	2	0.15
指宿	-	-	-	-	-	-	-	-	11	5.50	-	-	-	-	-	-	-	-
加世田	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1.33	-	-	1	0.33	-	-	1	0.33
伊集院	-	-	-	-	3	0.75	-	-	-	-	-	-	2	0.50	-	-	1	0.25
川薩	-	-	-	-	-	-	-	-	8	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-
出水	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.67	2	0.67	-	-	-	-	1	0.33
大口	-	-	1	1.00	-	-	1	1.00	3	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	-	-	-	-	1	0.14	1	0.14	7	1.00	-	-	20	2.86	-	-	3	0.43
志布志	-	-	1	0.50	-	-	2	1.00	6	3.00	-	-	1	0.50	-	-	2	1.00
鹿屋	-	-	-	-	3	0.60	-	-	16	3.20	-	-	2	0.40	-	-	3	0.60
西之表	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	3.50	-	-	-	-
名瀬	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	1	0.33
徳之島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33	-	-	-	-

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎(真菌性を含む)		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎(オウム類は除く)		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	28	0.53	5	0.09	0	0.00	4	0.57	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
鹿児島市	20	1.54	2	0.15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
指宿	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加世田	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伊集院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川薩	-	-	1	0.25	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
出水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	4	0.57	1	0.14	-	-	3	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
志布志	-	-	1	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿屋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西之表	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名瀬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳之島	3	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

